

## 光電波を用いた3次元画像計測技術の最前線

光電波を用いた計測技術は現在及びこれからの産業を支える重要な技術であり、新たな変革をもたらすものとして期待されています。その応用分野は、医療分野、車載分野をはじめ、多岐にわたります。今回のフォーラムでは、光電波を用いた3次元画像計測技術をテーマとして取り上げ、その現状と課題、今後の展望などについてこれらの分野の第一線でご活躍の方を講師にお招きし、ご講演いただきます。

<b>日時</b>	<b>2019年11月22日[金]</b> 13:30~16:20	<b>開催場所</b>	大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー2Fセミナー室201
<b>主催</b>	一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター	<b>共催</b>	大阪工業大学
<b>定員</b>	先着 <b>50</b> 名(定員になり次第募集締切)	<b>参加費</b> (消費税込)	会員 : <b>3,000</b> 円 非会員 : <b>5,000</b> 円

### プログラム

13:30 開催の挨拶 光・電波技術融合テーマ企画ワーキンググループ 主査 永妻 忠夫

#### LiDAR技術の最近の進展

~GreenValley International社のバックパック型ライダーを例に~

株式会社光響

営業部長 亀井 敬史 氏

13:35 ~ 14:50  
都市などの人工空間に限らず山林等の自然空間を含め、我々の生存圏たる空間を定量的に把握することは、新たな産業の創出、防災、自然・文化遺産の保護など様々な視点から重要となってきている。空間の三次元的定量化の方法としてLiDARがあげられるが、定点からの測定では広大な地球空間の把握はできない。ドローンを含む航空機搭載型の手法も広範囲をカバーする手法としてあるが、上空からでは欠落する情報がある。弊社ではGreen Valley International(GVI)社のバックパック型ライダー(背囊型)をその解決策として提案している。ここではその現状、課題、応用事例などを踏まえ、今後の展望について概観する。



バックパック型ライダーを用いた測定風景

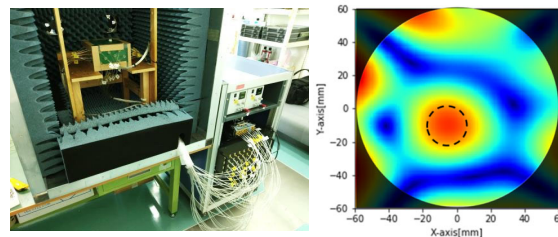
----- 休憩 (15分) -----

#### マイクロ波CTによる乳がん画像診断法の開発

関西大学 システム理工学部 物理・応用物理学科

准教授 山口 聡一郎 氏

15:05 ~ 16:20  
食文化や生活習慣の欧米化が進むにつれて、国内における乳がんの罹患者数・死亡者数が年々増加している。乳がんは早期治療することによって完治できる病気のため、定期的に乳がん検診を受診することが一番重要である。当研究グループでは、乳がん検診の受診者がX線被曝や圧迫苦痛を伴うことなく、専門医や医療従事者でなくても安全に自己診断できる乳がん画像診断装置の開発を目指している。マイクロ波を用いて医療診断を行う物理的な仕組み、ハードウェア開発、CT画像計算(再構成)、実用化に向けた技術的課題、他の医療・産業分野へのアプリケーション等について幅広く紹介する。



マイクロ波マンモグラフィ装置(左)と乳房模型を使ったCT画像(右)

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

#### 問い合わせ先

一般社団法人KEC関西電子工業振興センター  
専門委員会推進部 事務局 内橋 健二

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 3 丁目 2 番地 2  
TEL 0774-29-9041/FAX 0774-93-4564  
E-mail publication01@kec.jp

# お申込み要領

## 申込方法

弊センター ウェブサイト(<https://www.kec.jp/seminar/hdf11/>)の“お申込みフォーム”からお申込みください。

## 送金方法

受付後、請求書をご送付いたします。請求書記載の指定銀行口座にお振込みください。

## 問合せ先

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター 専門委員会推進部 事務局 内橋 健二  
〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 3 丁目 2 番地 2  
TEL: 0774-29-9041 / FAX: 0774-93-4564 / E-mail: publication01@kec.jp

## 参加方法

参加証等は発行しておりません。  
セミナーにて使用するテキストは当日配付いたします。

## その他

請求書発送後のキャンセルは原則としていたしかねます。  
欠席の場合は代理出席を付けております。

## 会場へのアクセス

### 大阪工業大学 梅田キャンパス2F セミナー室201

〒530-0013

大阪市北区茶屋町 1 番 45 号

URL <http://www.oit.ac.jp/rd/access/>



<地下街からのアクセス(地下街直結)>

ホワイトティうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビル(H-2)方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。

(JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。)

お申込みはこちら

<https://www.kec.jp/seminar/hdf11/>